

2020年11月11日

株式会社キトー

本日2020年11月11日に実施いたしました2021年3月期第2四半期決算説明会での質疑の要旨を、下記のとおり公開いたします。

質問1：サプライチェーン補助金の影響は、計画に織り込んでいますか。

回答：特に織り込んでおりません。

質問2：韓国や台湾の液晶関連投資は出てきていますか。

回答：はい、韓国では生産ライン増設に伴う設備投資プロジェクトが目立ってきており、韓国子会社の今期の計画に、織込み済みです。それらプロジェクト案件の売上を算入しています。同業界の投資水準は比較的高く推移しており、今期の韓国事業では昨年を上回る業績を見越しています。

台湾では、液晶関連の投資は顕在化していませんが、比較的軽微なコロナ影響の中、特に目立った業界があるわけではありませんが、当社子会社は比較的安定した事業を継続できております。

質問3：7～9月の生産規模はピーク時と比較してどのくらいの水準でしょう。また10～12月の生産計画についてもうかがえますか。

回答：生産量のピークは2018年度で、基幹システムの全面入れ替えにより生産が一部遅延し、リカバリーのために生産を短期間で集中的に引き上げました。足もとの生産量はピーク時の65%ほどで、今期に関しては同水準で推移すると想定しています。

本件に関するお問い合わせ

株式会社キトー

コーポレート・コミュニケーション部

TEL: 03-5908-0161

MAIL: ir@kito.com